

## 付録E. バー・コードの要約

表 E-1. APWでサポートされるバー・コード・タイプ

バー・コード・タイプ	コードあたりの桁数	有効な文字の範囲	省略時のチェック・ディジット	有効なチェック・ディジット
1 - Code 3 of 9	1から100まで 可変	0から9 AからZ, (大文字だけ) ...S(X'SB)*1,/,+,% ブランク	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジットつき
8 - JAN 短縮(EAN-8)	7	0から9	0	0-チェック・ディジットつき
9 - JAN 標準(EAN-13)	12	0から9	0	0-チェック・ディジットつき
10 - Industrial 2 of 5	1から100まで 可変	0から9	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジットつき
12 - Interleaved 2 of 5	1から100まで 可変	0から9	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジットつき
13 - NW-7	1から100まで 可変	0から9, 開始文字と終了文字は AからD (大文字のみ) で なければならない ...S(X'SB)*1,/,+,:;	1	1-チェック・ディジットなし 2-チェック・ディジットつき

\*1: カタカナ・コード・ページを使用するときは、'X'(X'SB)を'S'(X'E0)の代わりに入力してください。ただし、バー・コードHRIには、'S'と印刷されます。

# 本書で使用する用語

本書で使われる用語には、次のようなものがあります。

## い

印刷機能. 印刷装置に印刷するときの機能を示す情報で、書式の中に登録されます。

印刷固定文字. 見出しや罫線など、すべてのページに印刷するデータで書式の中に登録されます。

## う

上つき文字. 通常の文字より上にシフトした文字。

## か

解像度. 文字やイメージを構成しているドットの密度。通常1インチあたりのドット数を表わすDPI(または、PEL)が単位に使われます。

## き

記号. ユーザーによって設計され、記号セットに登録されるドットのパターン。各記号は、その作成時にユーザーが割り当てる記号IDによって識別されます。記号の例として、図案、大型文字、ロゴなどが挙げられます。

記号セット. 記号のグループ。記号セットは、記号セット・ファイルのメンバーとして登録されます。記号セットは、たとえば3倍の大きさの文字の集まりというように、何らかの形で相互に関連させるとユーザーにとってアクセスしやすくなります。

記号セット・ファイル. 1つまたは複数の記号セットを含むデータ・ベース・ファイルで、APWにより作成、保守されます。

記号ID. 記号の作成時にその記号に割り当てられる識別文字。記号の作成後、APWは記号IDにより、その記号を参照します。

## け

継続記号. ある行でのバー・コード・パラメーターとしての条件が次の行にも適用されるようにしたい場合には、正符号(+)を指定します。この記号は、注釈を除いた最後の非ブランク文字で前に少なくとも一つのブランクがなければなりません。

## し

下つき文字. 通常の文字より下にシフトした文字。

書式. 印刷装置に印刷するための各種の情報を登録している物理ファイル。

書式記述原始ファイル. 書式は、書式記述原始ファイルと呼ばれる原始ファイル中の原始ステートメントから作成されています。この原始ステートメントで固定データや印刷機能を指定します。

注釈. 書式記述原始ステートメントに対するコメント。このコメントは、書式作成には何の影響もありません。

## た

多機能ページ印刷ユーティリティ. 多機能印刷サポート・ユーティリティ (APSU/400) 中のユーティリティ。Advanced Page Printer Writerの頭文字を取り、APPWとも記述される。

## は

バー・コード. ユーザー・データや固定文字をコード化した太さの異なる数本の長方形のバーとスペースからなる記号。

## ゆ

ユーザー・データ. APWの書式合成機能により、書式と合成されるデータのことです。これは、適用業務プログラムがスプール・ファイルとして作成するか、RPG/400\*またはCOBOL/400\*のプログラム中でパラメーターとして、ページ単位にAPWに渡します。

## 英数字

APPW記号. 多機能ページ印刷ユーティリティ (APPW) によって作成された記号。

ASCII. American National Standard Code for Information Interchange (情報交換米国標準コード)の略。7ビット・コード文字(パリティ・チェックを含めて8ビット)からなるコード化文字セットを使用した、データ処理システム、データ通信システムおよび関連する機器の間の情報交換のために使用する標準コード。ASCIIセットは制御文字と図形文字とからなる。

DBCS文字. Double Byte Character Setの略で1バイト文字(SBCS文字)に対する2バイトの文字。SO制御文字とSI制御文字で囲んで表します。

PAGES. Page printer Advanced Graphics Escape Setの略でIBMのページ・プリンター制御コード体系。

PEL. Picture Element per inch. 1インチあたりの画素(ドット)数。DPIともいう。

SBCS文字. Single Byte Character Setの略で1バイトで表せる文字。EBCDIC文字とも呼ばれます。

SI制御文字. 2バイト文字の終わりを示す文字で、Shift In Control Characterの意。

SO制御文字. 2バイト文字の始まりを示す文字で、Shift Out Control Characterの意。

SCS. SNA文字ストリングを参照。

SNA文字ストリング. SNAにおいて、任意選択としてエンド・ユーザー・データと混ぜられ、要求応答単位に入れて送られる、EBCDIC制御から構成される文字列。

180PEL記号. 1インチ当たり180PELの解像度を持つ記号。

240PEL記号. 1インチ当たり240PELの解像度を持つ記号。EDTSYMAPWコマンドにより作成する方法と、CVTAPWSYM



# 索引

日本語、英字、数字、特殊文字の順に配列されています。なお、濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

## 〔ア行〕

印刷

- ～ページ 5-12
- ～様式的设计 A-3

印刷機能 3-19

- ～と固定文字の混在 3-64
- ～の表示 6-8
- ～の変更 6-4

印刷装置

- ～に出力する際の考慮点 11-1
- ～ファイル 1-10
- ～への出力 5-1

印刷装置タイプ

- ～別の考慮点 11-2

ウィンドー 4-15

エラー・リスト 3-67, 3-69, 3-70

オプション・リスト 3-67

## 〔カ行〕

影付き文字 1-2

記号

- ～セット 4-7
- ～セットの処理 4-2, 4-9
- ～セット・ファイルの削除 4-26
- ～の作成 4-12, A-4
- ～の指定方法 4-10
- ～の処理 4-2, 4-11
- ～の設計画面 4-13
- ～の変換 1-3
- ～の編集 4-12
- ～を作成する際の考慮点 11-2
- ～ID 4-10
- ～IDの桁数 4-10
- ～IDの16進表示 4-11

記号の解像度 4-7

ドット・マトリックス 4-14

ファイル作成時オプション 4-7

行間隔 3-28

罫線 1-2, 3-19, 5-10

継続記号 3-15

原始仕様入力ユーティリティ 1-7, 3-12

固定文字 3-13, 3-17, 5-10

コマンド・キー (記号の設計) 4-15

## 〔サ行〕

自動カラム・アライメント 3-57

出力 5-1

- ～リスト 3-67

出力スプール・ファイル

- ～を扱う際の考慮点 11-2

書式 3-1

- ～一覧表 1-3, 7-4

- ～一覧表表示コマンド 7-2

- ～記述原始ステートメント 3-13

書式 (続き)

- ～記述原始ファイル 3-4, 3-12

- ～記述原始メンバー 3-4, 3-12

- ～合成コマンド 5-2

- ～作成コマンド 3-2

- ～長 3-6

- ～とユーザー・データの合成 A-30

- ～とユーザー・データの重複 5-16

- ～の印刷 5-10

- ～のコピー 6-5

- ～の削除 6-7, 7-6

- ～の作成 1-3, A-8

- ～の変更 5-14

- ～幅 3-6

- ～ファイル 3-4, 3-71

- ～ファイルの削除 7-6

- ～リストの印刷 6-9

- ～を作成する際の考慮点 11-1

制御フィールド (記号の設計) 4-18

ソース・リスト 3-67

## 〔タ行〕

多機能印刷サポート・ユーティリティ 1-10

注釈 3-13, 3-14

## 〔ナ行〕

中抜き文字 1-2

## 〔ハ行〕

バッチ・ジョブ 8-1

パラメーター・エラー 10-4

## 〔マ行〕

メッセージ番号 リターン・コード 10-4

- ～の相違 10-4

## 〔ヤ行〕

ユーザー・カラム・アライメント 3-62

ユーザー・データ 1-4, 5-14, 5-15

- 書式と～の合成 A-30

- 書式と～の重複 5-16

- ～の印刷 5-11

ユーザー・プログラム 1-4

- ～からのAPW合成出力 9-1

- ～の処理手順 9-4

用紙長 3-5

## A

ADDAPWコマンド 3-30

ADDLFMコマンド 4-8

ADDPFMコマンド 4-8, 6-5

AMIKAKEコマンド 3-26

APW

- ～開始コマンド 2-2

APW (続き)  
～合成出力プログラム 9-2, 9-8  
～とは 1-2  
～の導入 1-10  
～表示画面の流れ 2-4  
～メニュー 2-1  
～用印刷装置ファイル 1-10, 5-5, 5-6

APWの書式の処理  
印刷機能の表示 6-8  
印刷機能の変更 6-4  
オプションの使用方法 6-4  
機能キーの使用方法 6-2  
書式のコピー 6-5  
書式の削除 6-7  
書式リストの印刷 6-9  
～画面の使用方法 6-1

APWCLSプログラム 9-2, 9-5

APWMRGプログラム 9-2, 9-5

APWOPNプログラム 9-2, 9-5

APWTSTプログラム 9-2, 9-7

AS/400多機能漢字印刷ユーティリティ

機能の概要 1-3  
～とは 1-2  
～の紹介 1-1  
～の使用にあたっての必要事項 1-8  
～の導入 1-10  
～を使用した業務の流れ 1-6

## B

BARCODEパラメーター 3-47

## C

CHGMRGデータ

～の構文図 3-65

～の例 5-15

CHGPRTF 1-10

CHGPRTFコマンド 9-3

CHGTGTEMLコマンド

コマンド構文図 3-65

コマンドの入力 3-66

コマンド・パラメーター 3-65

CHRIDパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-7

CLTFコマンド B-24

COBOL.400プログラム 1-7, 9-9

COPIESパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-5

CPIパラメーター(印刷機能) 3-37

CPIパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-6

CPYFコマンド 6-6

CPYSPLFコマンド B-24

CRTAPWコマンド

コマンド構文図 3-2

コマンドの入力 3-10

CRTLFCOMMAND 4-8, B-24

CRTPFコマンド 3-71, 4-8, B-24

CRTSRCPFコマンド 3-12

CVTAPWSYMコマンド

コマンド構文図 4-23

リストから指定 4-9

## D

DEVパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-5

DEVTYPEパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-7

DFLAPWコマンド

コマンド構文図 7-2

コマンドの入力 7-3

コマンド・パラメーター 7-2

DIRパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-9

DLTFコマンド 4-26, 7-6

DRAWコマンド 3-19

DRAWCコマンド 3-21

DRAWERパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-7

DRAWLコマンド 3-24

DRAWLCコマンド 3-24

DRAWRコマンド 3-26

DRAWRCコマンド 3-26

DSPFDコマンド 4-26

DSPJOBコマンド 12-3

DSPJOBLOGコマンド 12-2

DSPSPLFコマンド 11-3

## E

EDTSYMAPWコマンド 4-4

コマンド構文図 4-4

コマンドの入力 4-5

コマンド・パラメーター 4-4

ENDJOBコマンド 12-3

## F

FILEパラメーター(CHGMRGデータ) 5-14

FILEパラメーター(CHGTGTEMLコマンド) 3-65

FILEパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-4

FILEパラメーター(DFLAPWコマンド) 7-2

FILEパラメーター(EDTSYMAPWコマンド) 4-4

FILEパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-4

FONTパラメーター(印刷機能) 3-45

FONTパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-7

FORMDパラメーター(CHGMRGデータ) 5-14

FORMDパラメーター(CHGTGTEMLコマンド) 3-65

FORMDパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-4

FORMDパラメーター(DFLAPWコマンド) 7-2

FORMDパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-4

FORMLENパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-6

FORMTYPEパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-6

FORMWIDTHパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-6

## I

ID

記号～ 4-10

IGCCHRRTTパラメーター(印刷機能) 3-41

IGCCPIパラメーター(印刷機能) 3-39

IGCCPIパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-6

IGCSOSIパラメーター(印刷機能) 3-43

IGCSOSIパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-7

## J

JOBパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-4

JOBDBパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-7

## L

LINEパラメーター(印刷機能) 3-31

LPIコマンド 3-28

LPIパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-6

## M

MAGNIFYパラメーター(印刷機能) 3-31

MRGAPWコマンド

コマンド構文図 5-2

コマンドの入力 5-7

コマンド・パラメーター 5-4

## O

OCLステートメント 10-2

OS 400 1-8

～スプール・ファイル機能 11-2

～デバッグ機能 12-4

OUTQパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-6

OUTSPLFパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-6

OVRPRTFコマンド 9-3

## P

PAGEパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-5

POSパラメーター(印刷機能) 3-56

POSCTLパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-9

PPRLENパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-5

## Q

QPAPWPRT 1-10

## R

REPLACEパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-9

RMVMコマンド 4-9, 6-5, 6-7, 6-8, 7-6, B-24

RPG II 10-2

RPG 400プログラム 1-7, 9-8

## S

SBMJOBコマンド B-24

SCHEDULEパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-6

SEU 1-7, 3-12

SHADOWパラメーター(印刷機能) 3-35

SI制御文字 1-2, 3-7, 3-59, 11-1

SO制御文字 1-2, 3-7, 3-59, 11-1

SPLFパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-4

SPLNBRパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-5

SPOOLパラメーター(MRGAPWコマンド) 5-5

SRCFILEパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-4

SRCMBRパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-4

STRAPWコマンド 2-2

SUBパラメーター(印刷機能) 3-34

SUBRMGモジュール 10-3

SUPERパラメーター(印刷機能) 3-34

SYMBOLパラメーター(印刷機能) 3-52

SYMSETパラメーター(EDTSYMAPWコマンド) 4-4

S 36 APW資源 10-2

## T

TARGETパラメーター(CHGTGTEMLコマンド) 3-65

TARGETパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-9

TEXTパラメーター(CRTAPWコマンド) 3-9

## W

WKSPLFAコマンド 11-3

WRKOUTQコマンド 11-3

WRKSBSコマンド 12-3